

1・2年「からだ」

	書名	著者名	出版社	内容
1	からだの みなさん	五味太郎	福音館書店	なんとなくぼんやり歩いておられますと…おや?これなんだ!?と とつぜん ゆびが言います。あっこれこの前もらったアメだ!と頭が思い出して言います。体中がしゃべりだす楽しい絵本です。
2	どうぶつの目	中川志郎 監修 わしおとしこ 構成・文	アリス館	トラの目は顔の前。キリンの目は顔の横。どうして目の位置がちがうのかな。動物の目は食べるものや すんでいるところによってそれぞれちがいます。この本を見て、考えて、そして動物園でたしかめてみましょう。
3	くちばし どれが一番りっぱ?	ビアンキ 文 藪内正幸 絵 田中友子 訳	福音館書店	かたいくちばし、ほそながいくちばし、そりかえったくちばし、はばのひろいくちばし、するどいくちばし…。さあ、どれがいちばんりっぱ?
4	おへそのひみつ	柳生弦一郎 作	福音館書店	「おへそ」って何だろう?おへそはお腹のおまけなのかな、おへそにさわるとお腹がいたくなるのかな、おへそにはひもがついていたのかな、おかあさんのおへそは本当にほどけるのかな?おへそのひみつをやさしく教える絵本です。
5	ホネホネどうぶつえん	西澤真樹子 監修 大西成明 写真 松田素子 文	アリス館	ホネだけだって、だれだかわかる。ホネだけだから、ひみつがわかる!シマウマやコビトカバ、ゾウやコウモリなどいろいろな動物のホネを紹介して、動物のふしぎをときあかします。
6	パンダの手には、かくされた ひみつが あった!	山本省三 文 喜多村武 絵 遠藤秀紀 監修	くもん出版	動物の体のふしぎや進化のひみつをあきらかにしていく動物学者のけんきゅうをえがくシリーズ。動物園で人気のパンダは、なぜものをつかむことがきでるのか?その手のしくみを絵本でわかりやすくときあかします。
7	ラングリーのみみ	ユリア・ゴシュケ 作・絵 徳永玲子 訳	ポプラ社	長い耳のせいで、ラングリーはしっぱいばかり。おにごっこをしてもころんでしまうし、かくれんぼをしてもすぐに見つかってしまいます。「どうしてぼくだけこんなに長い耳なんだろう…」そのまんまの自分を好きになれる本です。